



### 3. 今後の取り組み 《実施計画策定》

ミッション

## (M3) 公立医療施設の経営改善と医療資源の最適化 [②]

実施項目

国保上矢作病院の方向性

実施内容

上矢作病院の病床数は、慢性期の患者の利用は増加している。(最大稼働病床数R4:37床、R5:36床/56床、R6:43床/56床)  
ただし、人口減少が進む中、将来を見据えて病院としての機能を維持するか若しくは事業規模を縮小し、診療所に転換するか検討する



案 計 画

医療と介護の複合ニーズが高まっていくことが見込まれ、病院機能を維持継続していく

しかしながら、上矢作病院の喫緊の経営課題が3つあり、人員配置基準・運転資金の枯渇・建物の老朽化等がままならない状況に陥った場合は、現在の施設を活用しながら、移転することも視野に入れ有床診療所若しくは無床診療所へ転換する

\* 転換する場合は、地域の理解を得ながらすすめる。





### 3. 今後の取り組み 《実施計画策定》

ミッション

#### (M3) 公立医療施設の経営改善と医療資源の最適化 [③]

実施項目

公立医療機関の規模・機能

実施内容

既存の公立医療機関を継続・維持する一方、規模や機能に合った診療日及び診療時間等の見直しを行う



案 計 画

国保上矢作病院の機能は現状を維持するが、やむを得ず規模や機能を転換するときは、再度検討を行う  
各診療所は、将来にわたり必要な医療提供を安定的かつ継続的に提供するにあたり医療ニーズに沿った医療提供を行うために、診療日及び診療時間等の見直しを行う





### 3. 今後の取り組み 《実施計画策定》

ミッション

#### (M5) 公立医療施設の経営改善と医療資源の最適化 [①]

実施項目

施設の建替え又は大規模改修工事[国保上矢作病院]

実施内容

国保上矢作病院は建築後47年が経過し、施設・設備とも老朽化が著しく改修工事や更新する箇所が非常に多い。また、病室面積及び廊下幅が現在の施設基準を満たしていない等、運営に支障をきたしていることから、施設・設備の更新が求められている



案 計 画

病院として機能を継続する間は、既存施設を有効利用し医療提供を行う  
築年数が47年を経過しているため、施設・設備とも老朽化が著しく改修工事や更新する箇所が多いため、修繕計画を医療機関で作成し必要な修繕を行う(医療機関の経営を勘案する)

